

あさひむら としよかん新聞

村立朝日村図書館発行
2023年4月1日
(第25号)

4月



「ありがとう100周年」

「ありがとう100周年」
村立朝日村図書館は大正12年5月に
長野県に認可されてから100年となり
ます。市町村では県下で5番目、村立とし
ては最も歴史のある図書館です。

おかげさまで、100周年となりまし
た。令和5年度をAnniversary yearと
して、おはなし会や、講演会などを予定し
ていきます。

としよかん新聞では100周年イベント
の一環として、図書館利用者や関係者から
「図書館の思い出」を寄稿していただき、
一年間毎月この新聞に掲載します。また、
朝日村文化祭には大型新聞を掲示する
予定です。

親子3代で通っていた方、
朝日村へ転入してから通っていた方、
いる方、一度も図書館を訪れたことがな
い方もいらつしやると思います。村立
朝日村図書館は地域の皆様とこれから
歩んでいけたらと考えております。

ぜひこの機会に図書館へお運びくだ
さい。お待ちしております。

「たからさがし」が始まりましたよ！

毎年4月から1年間行われる読書推進
イベントがスタートしました。
今年「たからさがし」です。
参加者には「TREASURE MAP」
をお渡しますのぞ、

「ASAHIJIMA」
「YAMAGATAJIMA」
「MATSUMOTOJIMA」
「SHIOIRIJIMA」

のおたからリストにある【おたから(本)】
を館内から探し出し、借りていってくだ
さいね。

詳しいルールは、TREASURE
MAPの裏にも書かれていますので、まず
は図書館でイベントの参加申し込みをし
てください。

図書館にはおたからリストに載っている
以外にもたくさんのおたから(本)があ
ります。イベントを楽しみながらたくさん
図書館に通ってくださいね。



「無知から広がっていく世界」

～知ろうとする気持ち～

博識だからと言って「すべてを知っている」わけではありません。博識
といわれる方は、様々なことに興味を持ち、知ろうとするので知識が
豊富なのです。自分は無知だと思おうも、知ろうとすることが知識への
扉を開きます。本は無知を脱却するアイテムのひとつです。誰であれ、
興味を持ち、知ろうとすることがその人を豊かにしてくれるのではない
でしょうか。

☆おすすめの本☆

- | | |
|---|--|
| 3歳～ 「はらぺこあおむし」
「ぐるんぱのようちえん」 | エリック・カール 作
西内ミナミ 作 |
| 6歳～ 「ライフタイム
いきものたちの一生と数字」
「おそらにはては あるの？」 | ロ-ラ・M・シ-ア- 文
佐治晴夫 文 |
| いっばん
一般 「すごすぎる天気図鑑」
「知識ゼロでも楽しく読める！」
「数学のしくみ」 | あらきけんたろう 著
荒木健太郎 著
かとうふみはる 監修
加藤文元 監修 |
| 「オトナ女子のすてきな語彙力帳
:いつもの言葉があか抜ける」 | よしいなな 著
吉井奈々 著 |

図書館の思い出 横尾 春樹

私が初めて朝日村
図書館を訪れたときの
第一印象は「ちやっ
ちや！」である。しかし、
それがよかった。
館内に入るとまず
児童書コーナーがある。な
んとはなしに棚を眺めて
いくと、そこには孤独だ
た学童期の私を支えてく
れた懐かしい本の数々が。
それは、書店や大きな
図書館で見過ごし続けて

きた大切な旧友たちと
の再会だった。小さくて
よかった。
彼らを借りて帰ったの
は言うまでもない。
余談だが、我が家ではマ
ックス・ロフタンという
品種の羊を飼っており
その意味は、マン島の『小
さな愛らしい茶色い奴』
だ。私にとって朝日村
図書館はまさにそんな
存在なのである。

新入学

新しい環境で頑張るあなたへ贈る1冊。
不安や心配もあると思うけれど、ぜひ新生活を満喫してください。
入学おめでとう！

入園



「ようちえんが
ばけますよ」
文：内田麟太郎
出版：くもん出版

小学校入学



「くんちゃん
のはじめてのがっこう」
作・絵：ドロシー・マリノ
出版：ペンギン社

中学校入学



「ぼくはイエローで
ホワイトで、
ちょっとブルー」
著：プレイディみかこ
出版：新潮社

何者かになろうとして、
懸命にもがく人たちに



「三流シエフ」
著者：三國清三
出版社：幻冬舎

料理界のカリスマ・三國シエ
フの自伝。
雑用こそ人生の突破口だ。誰
より苦労しても、その苦労を見
ている人は1%にも満たない。
それでも世界のミクニは必死
に鍋を磨き続けた。
料理界のカリスマ・三國シエ
フの自伝。